

特集：入学

自分を創り、自分が創る 4 年間

濱 健夫（筑波大学 生物学類、生物学類長）

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学生としての新たな一歩を踏み出されたことを、心よりお喜び申し上げます。今、皆さんは大きな希望と少しの不安を持ち合わせて、大学生活を迎えていることと思います。生物学類の教職員、そして先輩諸氏は、その希望をさらに大きく発展させ、そして不安を少しでも解消するようサポートしていきたいと思います。

我が生物学類は、約 60 名の多くの教員が、教育・研究に携わっています。その研究は、生命現象をつかさどる機構を研究することにより「生物を創る世界」を解明しようとする分野から、生物が集まり環境との関係を築き上げる機構を研究することにより「生物が創る世界」を解明しようとする分野まで、非常に多岐にわたっています。現在、生物に関する研究の発展はめざましいものがありますが、それは分子生物学などに代表される「生物を創る世界」だけにとどまらず、環境問題を含めた「生物が創る世界」にも及んでいます。

科学の中心に生物学があると言っても過言ではありません。皆さんが生物学に対して今持っている興味を更に発展させ、そして、新たな興味を抱かせるような、授業・実験・実習に必ず出会えるものと確信しています。

また、大学時代は、皆さんの将来を決定する時です。勉学を通して今後の進路の方向性が決まると言う現実的なことだけではなく、物事の考え方など自己のパーソナリティーが確立する年代と言って良いでしょう。多くの友人との交流やサークル活動などは、勉学だけでは得られない「宝」をもたらしてくれるものと思います。

さて、皆さんは、これから 4 年間の大学生活を送るわけですが、すべての人がこの 4 年間を通して順風満帆に進む訳ではありません。多くの人は何らかの逆風に出会うことだろうと思います。順調に進んでいる時は、意識しないでもその風に乗る、自他共に満足できる成果を残すことができます。ところが、風向きが変わり、思うように物事が進められない、成果を残すことができない、どのように考え行動に移して良いのかが分からない、といった事態に陥ることが、必ずやあると思います。その逆風の中で、次につなげられる考え方や行動を起こすことができるかが、重要になってきます。自分の力で解決できない時は、家族、友人、そして教員を頼っても結構ですから、次につなげられる何かをつかんで欲しいと思います。

「自分を創り」、そして、「自分が創る」充実した 4 年間となることを期待しています。